



2022年 1月31日  
第124号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実  
編集 情宣担当  
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

## 横地申19号「相模線ワンマン運転について」に関する基本申し入れ提出！

JR東労組横浜地本は昨年6月に「相模線ワンマン運転」の提案を受け、関係する組合員との議論を進めてきました。また横地申第2号「相模線ワンマン運転について」に関する説明申し入れを行い、団体交渉で議論をしてきました。説明交渉を行ったものの「まだ決まっていない」「検討中」の回答が多く、施策を担う組合員からは多くの不安の声が出されました。

茅ヶ崎運輸区では乗務員の訓練が始まり、車両や設備などへの多くの不安や不満の声が多く出されました。また車掌業務を担う社員の今後の方向性も具体的に示されていません。

組合員の不安解消と本施策をより良い施策とするために下記の通り申し入れました。

1. 車載ホームモニタを、よりフレームレートの高いものへと改修すること。
2. 降雨時および落葉時等における空転ならびに滑走を防止するため、粘着性能の改善をはかること。
3. 夜間における警備強化と多客時におけるドア扱いを安全かつ円滑に行うため、警備員ならびに通対要員を配置すること。
4. ワンマン運転における教育・訓練は、社員の理解度を把握し、社員から要請がある場合はその都度対応すること。
5. 施策に伴う人事異動は、本人希望およびキャリアプランを前広に把握し、社員の資格や能力を十分に考慮すること。
6. 異動に伴う意識づけや事前通知等は、社員の生活設計を考慮し1ヶ月前には行うこと。
7. 異動に伴うロッカー整理等は勤務時間として取り扱うこと。
8. ワンマン運転に関するお客さま周知を十分に行うこと。
9. ワンマン運転に伴い各駅停車時分を拡大すること。
10. 停止位置不良時の取り扱いについて明らかにすること。
11. E131系車両は運転台に死角が多いため、停止位置目標は運転士側の高い位置へ建植すること。
12. ワンマン運転中の床下点検時に活用できるよう、設定した案内放送を繰り返すモードを追加すること。



**組合員・社員の声をもとに、要求実現に向けて団体交渉を行います！**